

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしくを支え合いのサービスとして、ホームを立ち上げた時の思いを込めた、独自の理念を作り上げている。	○	理念の徹底。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開所時など、折に触れ管理者より理念について説明がなされ、職員は実践に向け日々取り組んでいる。	○	理念の唱和を実施していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	施設入口の見やすい場所に掲示を行っている。また契約時に家族に説明し、理解を求めている。地域やボランティアの方々にも、よく理解して頂いている。	○	季節ごとに新聞（ホーム便り）を発行していきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時に隣近所の方に挨拶したり、施設の行事に参加して頂くなど、交流を行っている。時折野菜などを散歩中に頂いてくることがあり、お茶に誘ったり近隣への付き合いを大切にしている。	○	これからもこのお付き合いを大切にし、継続できる支援をしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会等の行事に積極的に参加するよう交流に努めている。	○	自治会に年度切り替えに加入する予定である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域貢献について、施設内で話し合いは行っているが、実施できていないため、今後取り組んでいくよう検討している。	○	キャラバンメイトを活かし、地域の高齢者や家族等に役立たせたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義や目的を全員で話し合い、自己評価および外部評価に取り組んでいる。	○	評価の結果を活かし、サービスの質の改善に取り組んでいきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において、施設で取り組んでいるサービス内容の報告や質問、意見、要望を受け、話し合いサービス向上に活用している。	○	積極的な意見交換をし、改善につなげていきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者との情報交換や連携に努め、運営推進会議にも参加して頂いている。市で開催される勉強会、研修などにも積極的に参加している。	○	市町村へ働きかけを行い情報収集など、サービスの質の向上に役立たせていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について理解はしているが、それらを活用するような対象者がいない。	○	対象者としては現在いないが、より深い知識について学ぶ機会を持って活用できるようにしていきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング時に管理者より、虐待防止について説明がなされ、虐待防止に努めている。	○	虐待防止は今後も徹底し継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時ご家族より同意して頂いている。また同意が必要と思われる事については、其の都度同意を得るようにしている。	○	今後も理解を得、納得して頂けるよう継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、苦情相談窓口を設けており反映されるようにしている。	○	より自由に意見、要望、苦情が言いやすいよう取り組んでいきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、文書にて暮らしぶり金銭管理についての報告を行っている。健康状態等については、必要に応じ職員より連絡報告を行っている。	○	今までの取り組みを継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱設置と苦情処理機関の掲示を行っている。	○	継続していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の定例会議を実施し意見交換を行っている。	○	継続して実施。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成時に要望を受け作成している。また緊急時には其の都度調整を行っている。	○	より柔軟な対応ができる体制の確保を行えるよう努めていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>採用時に試用期間を設け介護職員として適しているか見極めている。(1ユニットのみの為移動はない)</p>	<p>○</p> <p>移動や辞職により影響が出ないよう職員全員が同じ対応、ケアが出来るよう配慮していきたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設見学や研修に参加し学習する機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>参加対象となる研修には積極的に参加をすすめている。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>開所以前、視察研修として同業者へ訪問、開所後訪問されたり相互訪問等活動を通して、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。ネットワーク作りや勉強会は実施していない。</p>	<p>○</p> <p>同業者との交流を通して、ネットワーク作り、勉強会、相互訪問等の活動に取り組んでいきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>コミュニケーションをはかり問題が生じた時はよい方向へと対処して取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>施設内の介護になりやすいので、行事などで外出して利用者と一緒にストレスが軽減できるようにしている。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者や職員を、研修や勉強会など積極的に参加させ、各自の向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>○</p> <p>今後も研修や勉強会等積極的に参加させ取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に直接本人に会い困っていること、求めている事等自身から話せるような声掛けの仕方を考えよく聞き受け止める努力をしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に聞き取りを行い、家族の不安要因や困っていること等を、理解し受け止める努力をしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームであるための支援が必要であるか見極めに努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得したサービスであるためにホームの見学をして頂き雰囲気を知ってもらう工夫をしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、家事や会話を通してご本人より学ぶ機会が持てるようにしている。	○ 利用者の方との共同作業を多く取り入れていくともに支えあえ学びあっていきたい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方にも施設に出来るだけ来所して頂き、ご本人の日常などを見て頂き、共に支えていけるよう働きかけを行っている。	○	今後も家族との関係を密にし、共に支えあえるよう支援していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人の意見を聞き、必要に応じご家族、職員を交え話し合う機会を設け、関係調整のため働きかけている。	○	本人と家族との関係が、入所をきっかけに変わってしまわないよう話し合う機会を多く持つよう今後も支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の要望に応じ、なじみの場に外出するなど支援に努めている。	○	本人が求めているのを引き出し、より一層の支援が出来るよう努めていく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人ひとりの個性、性格を把握、配慮し関わりが円滑になるよう支援している。	○	利用者間で問題が生じることが無い様に、常に会話や行動に注意を払い支援していきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在該当者がいないため実施なし。	○	自立できるよう支援していき関係が継続できるよう支援を行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望を聴くと共に、家族の意見や、職員の気づいた事等を、ミーティング時に話し合い把握に努めケアに生かされるように支援している。	○	より良くなるよう支援を継続していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人ご家族よりの聞き取り、および情報フェイスシートにより確認把握している。	○	より良くなるよう支援を継続していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	強要することなく、一人ひとりの意思を大事にし、レクやリハビリに取り組んでいる。バトル測定を定時施行しているが、個々の顔色や行動等を目配りしている。	○	より良くなるよう支援を継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の思いを引き出し作成している。計画作成者もケアに加わり、利用者や家族と日頃のかかわりの中から得た情報を元に、スタッフとのミーティングで、それぞれの意見やアイデアを出し合って介護計画を作成している。	○	ケアプランの充実にむけ継続していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	認知症のケアについては、日々変化があり、家族や関係者と話し合い、柔軟に対応でき現状に即した計画が作成されている。利用者の状態変化や介護計画のモニタリングを実施し、見直しは随時行っている。計画変更は、其の都度家族に説明がなされ、了解を得ている。	○	チェック表の活用を実施していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の毎日の記録をつけ、情報を共有している。また申し送りなどでも共有実践している。	○	チェック表の実施を徹底し、見直しに活かし、一人ひとりの情報を共有していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の、其の時々々の要望に対して支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティア、民生委員の方等の支援協力を受けながら、支援を行っている。	○	文化、教育機関などに協力して頂けるように働きかけを行う。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	理髪店、整骨院など利用者の希望に応じて利用している。	○	地域の他のケアマネジャーやサービス事業者とも連携を図っていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方に情報提供や助言を頂いている。	○	こちらから働きかけ協働し実践していけるようにしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が納得されたかかりつけ医に受診している。通院の仕方や受診結果の報告等家族とよく話し合っている。	○ かかりつけ医と事業所の関係を築けるよう検討を行う。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医等受診支援は特別には行えていない。	○ 専門医についての情報収集をし協力を依頼していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	現状として実施なし。	○ 今後協力できるような支援を検討していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換を行い、安心して退院できるよう努めている。	○ 今後も今迄通り継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の希望があれば、重度化や終末期に対応することが出来ること等、契約時の時点で説明し話し合いをしている。状態の変化があることに、繰り返し家族などと話し合い対応方針の共有を図っている。	○ 主治医とも連携を図っていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在は実施していない。	○ 今後検討や準備を行っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	現状として住み替え実施なし。	○	現在そういう事例はないが、住み替え時には話し 合い情報交換を行っていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	尊厳を大切にしていることを認識しており、言葉 かけや対応に配慮している。個人情報の取り扱い については、管理者による説明が行われており注 意するよう努めている。	○	言葉かけ対応、個人情報について定期的に話し合 う機会を継続していきたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	本人の分かる力に応じて説明し、納得して頂ける よう努め支援している。	○	今後も自己決定の支援を大切にし、生き生きとし た暮らしが出来るよう継続していき、ケアプラン にもそれを活かしていきたい。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	本人の希望により日課を進めるよう配慮してい る。	○	今後もその人らしい生活ができるように継続して いきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで けるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	外出時にはよそ行きに着替えたり、化粧等し外出 している。施設に理容師さんに出張していただい ているが、本人が望むなじみの美容室に出かける 時もある。	○	今後も本人の希望に沿うよう支援していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好、禁忌食品など考慮しメニューを変える等配慮している。野菜きりや後片付けなど利用者と共にしている。	○ 今後もっと多くのことが実施できるよう支援していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体状況に合わせて検討している(酒、タバコは禁)。飲み物、おやつについては好みのものを提供するよう勧めている。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりにあわせ、訴え時や声かけ等トイレ誘導介助の支援をしている。	○ 今後も今迄通り、一人ひとりに合った排泄の仕方を支援していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者同士で入浴の順番を決めるなど、希望のタイミングで入浴している。	○ 今後もよりよくなるよう支援していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯前や後等、個人に合わせた就寝時間の確保をしている。	○ 今後もよりよくなるよう支援していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出や散歩、庭いじり、花の水やり、食事作りの手伝い、後片付け等、一人ひとりに合わせた支援をし、役割が楽しみに、そして気晴らしになるよう支援している。	○ これからも一人ひとりが出来ることを増やし、張り合いを持って過ごすことが出来るよう支援していきたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には小遣いはホーム預かりとし、必要に応じて買い物、外食など其の中から自由に使えるようにしている。小銭程度は本人持参の利用者もいる。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者は毎日散歩を実施、その他車を利用し神社、公園など外出の機会を持っている。	○	月に一度は必ず外出し、希望の場所へ行くようにしているが、これからもどんどん戸外への外出を実施していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者と家族との外出や外泊は実施されている。職員を含む利用者と家族同伴での外出、外泊は実施されていない。	○	今後は家族同伴での外出等を、出来るだけ働きかけをし、実践していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により実施している。	○	今後も自由に出来るように支援していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるよう働きかけをし、訪問時はお茶等を入れ、ゆっくり談話できるよう支援している。	○	誰でも立ち寄れるような雰囲気や、又行って見ようと思われるような雰囲気を、これからも作っていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者より説明がなされ、身体拘束をしないケアを実践している。	○	今後も身体拘束をしないケアを実践していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解しており見守り、こえ掛けにて対応し実践している。鍵を掛けなくてはならない事も理解している（各居室は徘徊者が入室してしまい、入られた方との揉め事となるため、居室は玄関の意味で出る時は自己にて掛けている。）	○ 今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	特に徘徊者の見守りや目配り気配りに配慮し、利用者の所在や様子の安全確認をしている。	○ 夜間安眠を妨げることのないよう配慮しながら支援していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりに応じて対応しているが管理場所、保管場所を決めてあるものもある。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング時に話し合い転倒、誤薬、徘徊時等事故防止の見守り強化に取り組んでいる。ひやりはっと、事故報告書にて報告し早めの対応を実践している。	○ マニュアルの作成
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員との訓練はで実施できていない。	○ マニュアルの作成。外部より指導者に指導して頂くなど、勉強会の開催など実施していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者との訓練は出来ていない	○ マニュアルの作成。避難場所の確認、地域消防団、消防署などに協力を依頼し訓練の実施をしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>一人ひとりの身体状況に応じたリスクの有無や、対応が家族に説明されている。</p>	<p>○</p> <p>これからも日々の暮らしの中で、変化に即対応し、家族との連携を取りリスク対応に努めていきたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝のバイタルチェックの実施。様子観察、異変時の伝達など速やかに行われるよう実施している。</p>	<p>○</p> <p>状態の変化などに対して常に話し合い検討することをこれからも実施していきたい。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの薬の効能を理解し、医師の指示通りに内服できるよう支援し、状態の変化は即家族に連絡できるよう実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も誤薬や飲み忘れ等がないように確実に実施していく。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>定期的な運動、体操の実施。乳製品の定時摂取。排泄表による排便の有無、下剤の管理。</p>	<p>○</p> <p>定時の乳製品の摂取により、便秘が軽減しているため、今後も実施していきたい。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後のうがい、歯磨きを声かけにて実施している。介助者には誘導し付き添って実施している。</p>	<p>○</p> <p>声掛けしなくても毎食後必ず実施出来るよう習慣化させていきたい。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士の献立にて調理。本人の好みや禁忌食品などへの対応。食事や水分量のチェック等実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	環境整備。週一回のリネン交換。浴室等排水溝、洗濯層の洗浄。調理前、食事前の手指洗浄。アルコール消毒実施。	○	マニュアルの作成。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮なものを常に用意できるよう食材の購入を実施している。食器乾燥機の使用。冷蔵庫内点検、清掃、消毒。まな板、包丁、布巾などの消毒。	○	マニュアルの作成。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夜間を除き門扉の開放。玄関のスロープや手すりの設置。又四季折々の草花や家庭菜園などを作り、玄関や建物周囲を工夫している。	○	今後も草花を絶やさずいつも明るい雰囲気を作っていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物や、季節の花々を設置したり、利用者の手作りの貼り絵や作品を飾り、穏やかな雰囲気を出している。臭いの気になる場所へは消臭剤などを設置している。	○	建具がすべて引き戸であるため、閉める時の音が響くので響かない工夫を実施していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテレビ、ソファを設置、食堂のテーブル、和室のこたつ等自由に過ごせる場を設けている。	○	今後も継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人のなじみの家具の持ち込みや、写真を飾ったり、仏壇なども持ち込み、好みに合わせた部屋作りを実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も居ごごちよく暮らせるような部屋作りに努めていきたい。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>朝の清掃時の換気の実施。冷暖房の温度調節には状況に応じまめに実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ、洗面所、浴室等に手すりを設け、身体状況に応じた環境づくりを実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>プレートにてトイレや居室等表示している。家族の了解を得、居室に名札を下げて混乱を防いでいる方も居る。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>リビングよりウッドデッキに出られ、自由に出入りでき、椅子やテーブルを設置し活用し、日光浴やおやつ、食事、バーベキュー等楽しむことが出来ている。菜園や花壇で活動できるよう支援している。</p>	<p>○</p> <p>天気の良い日は、デッキでの食事や、おやつのお数を増やし、外気浴を増やしていきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 基本理念を大切にしやすらぎと喜びのある日々が送れるよう職員一人ひとりがご利用者様との時間を大切にしている。
- 生活の中で出来ること出来ないことを理解し得意とする分野での役割作りを大切にし自信に繋げられる様に支援している。